

2008 年 2 月 18 日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

コーラルベイニッケル社におけるHPAL第2工場建設費の見直しについて

住友金属鉱山株式会社（東京都港区 代表取締役社長：家守伸正）は、子会社であるフィリピン共和国コーラルベイニッケル社（以下、CBNC）における HPAL 第 2 工場について、建設費の見直しを実施いたしました。

CBNC HPAL 第 2 工場は、2006 年 3 月に着工し工事は順調に進捗しておりますが、第 1 工場で得られた知見等を反映させるために一部設備の仕様変更を行います。これらにより、建設費は 285 百万米ドルから 307 百万米ドルに増加します。

一方、操業の安定化が図れるとともに、2 工場相互のユーティリティー設備の補完による操業時間の増加により、第 1 工場と第 2 工場をあわせた年間生産能力は約 10% の増加が見込まれます。（生産能力：ニッケル量で 22,000 t/年のニッケル・コバルト硫化混合物（Nickel/Cobalt Mixed Sulfide ニッケル品位約 55%））

生産開始は、当初の計画と変更なく、2009 年 4 月を予定しています。

HPAL 法は、これまで回収が困難であった低品位鉱からニッケルやコバルトを回収する技術で、当社は現在この技術において世界のトップランナーになっています。第 2 工場の建設により貴重なニッケル資源のさらなる確保に加え、この分野での地位を確固たるものとし、「非鉄メジャークラス入り」の実現に引き続き邁進してまいります。

HPAL：High Pressure Acid Leach 高圧硫酸浸出

（本件に関するお問い合わせ先）

広報 IR 室 大場浩正

TEL：03-3436-7705